

体育科学学位プログラム スポーツマネジメントコース（博士前期課程）								
養成する人材像	<p>体育スポーツに関する幅広い学識ならびに専門知識を習得し、体育スポーツの高度な指導力を有する指導者ならびに体育スポーツに関する専門知識と研究能力をもった高度職業人の養成を目的とする。特に、スポーツマネジメントに関する理論および実践の体系的知識を修得し、スポーツ組織の運営やスポーツを通じた社会課題の解決に資する能力を養成する。</p>							
教育研究の特徴	<p>現代社会がスポーツに求めるものは、増々多様で高度になっています。このため、近年ではスポーツ特有のマネジメントやスポーツによる社会課題の解決のためのマネジメントなどに関する研究が求められるとともに、スポーツマネジメントの各種現場では高度なスポーツマネジメント能力が求められています。</p> <p>ヨーロッパや北米においては、学部卒業生だけではなく既にスポーツマネジメント関連の職にある実務者が、自身の論理的思考や実践力、リーダーシップなどを高めるためにスポーツマネジメント大学院やビジネススクールに入学するのはこのためです。我が国でも同様の傾向が見られ、今後この傾向は一層強くなると考えられます。</p> <p>このため、本コースでは、例えば、以下のようなスポーツマネジメントを対象とした最新のスポーツマネジメント研究の理論と実践に有益なカリキュラムを準備しています。なお、学生は自身の研究領域に応じて履修科目を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政府や中央競技団体などのトップスポーツのマネジメント。 ・プロスポーツクラブ、フィットネスクラブ、地域スポーツクラブなどのスポーツクラブのマネジメント。 ・プロリーグやメディアスポーツなどのマネジメント。 ・健康スポーツや身体活動などのマネジメント。 ・スポーツ政策、スポーツによるまちづくりや地域活性化などのマネジメント。 ・スポーツイベント、スポーツ用品・ヘルスケア、スポーツ施設（スタジアム・アリーナ）など各種ビジネスのマネジメント。 							
修了後の進路	<p>後期課程への進学／スポーツ関係企業人／スポーツ競技団体職員／スポーツクラブ職員／政府・地方自治体職員／健康・スポーツ関連機関職員／中学校・高等学校教諭（保健体育）／専門学校教諭／青年海外協力隊職員など</p>							
科目区分	1年次		2年次					
	前学期	後学期	前学期	後学期				
大学院共通科目（必修）	身体総合学術論	2						
研究群共通科目（必修）	研究報告演習Ⅰ	2		研究報告演習Ⅱ	2			
基礎科目（選択）	スポーツマネジメント特論	2						
	スポーツライフマネジメント特論	2						
	スポーツマーケティング特論	2						
	経営戦略特論	2						
	スポーツ政策特論	2						
他学位プログラム・コース科目								
専門科目（選択）			スポーツマネジメント特論演習	2				
			スポーツライフマネジメント特論演習	2				
			スポーツマーケティング特論演習	2				
			経営戦略特論演習	2				
			スポーツ政策特論演習	2				
研究指導科目（必修）	体育科学研究Ⅰ	1	体育科学研究Ⅱ	1	体育科学研究Ⅲ	2	体育科学研究Ⅳ	2
履修方法	<p>次の履修方法により、30単位以上を修得すること。</p> <p>(1) 大学院共通科目: 2単位</p> <p>(2) 共通科目: 4単位</p> <p>(3) 基礎科目: 所属コースの科目から8単位以上</p> <p>(4) 専門科目: 所属コースの科目から2単位以上</p> <p>※研究指導教員が担当する科目は必ず選択する。</p> <p>(5) 基礎科目及び専門科目を合わせて18単位以上</p> <p>※各学位プログラムが履修を認める科目は、単位数に含めることができる。</p> <p>(6) 研究指導科目: 体育科学研究Ⅰ～Ⅳの6単位</p> <p>※研究指導教員が担当する科目を選択する。</p>							
修了要件	<p>2年以上在学し、学位プログラムが定める修了に必要な授業科目を30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。</p>							
その他の学修・研究		学会発表		中間発表会 学会発表		修士論文作成 修士論文審査 最終試験 最終発表会		